

ステークホルダーエンゲージメント

| 方針 | ともに創り出す社会へ

KDDIは、お客さま、株主さま、お取引先さま、社員とその家族、地域社会など、KDDIを支えていただいているすべてのステークホルダーの皆さまとの対話を尊重します。そしてステークホルダーの皆さまとの共創を積み重ね、社会的課題に積極的に取り組み、豊かなコミュニケーション社会の発展に貢献していきます。

| 体制 |

KDDIのステークホルダーと主な対話方法

KDDIは、すべてのステークホルダーを「お客さま」ととらえ、それぞれの「ご満足」実現を目指してさまざまな活動を行っています。またGRI (G4)、SASB、IIRC、ISO26000等のCSRの国際規格や、投資家からのヒアリング項目をチェックリストとして使用し、現状分析および課題に対する対処方針を策定し実施しています。

サービスご利用者（主な窓口：お客さまセンター）

2015年3月末現在、KDDIには、約4,348万のauのお客さまがいらっしゃいます。こうしたお客さまのご意見・ご要望はもちろん、SNSやツイッター等によせられるご意見・ご要望等にも対応し、ステークホルダーの社会課題を抽出し、KDDI研究所をはじめとした各部門にフィードバックすることで、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを行っています。

株主・投資家（主な窓口：IR室）

2014年度は、投資家との個別ミーティングを949回実施しました。また2015年6月17日開催の株主総会には、574名の株主さまがご出席されました。

地域社会（主な窓口：CSR・環境推進室）

2014年度は、「KDDIケータイ教室」を通じて約57万人の小学生、中学生、高校生、保護者・教職員の方々、約3,600人のシニアの方へ無料講座を実施しました。

NPO・NGO

（主な窓口：CSR・環境推進室、各総支社）

2014年度は、全国の拠点で行政機関やNPO・NGOと協働して、森林保全活動や希少な生物が生息する海岸清掃活動など、多種多様な環境保全活動を実施しました。

行政機関（主な窓口：渉外部）

2014年度は、ICT基盤を担う電気通信事業の在り方について、政策の具体的方向性を提示することを目的とした、総務省情報通信審議会「2020-ICT基盤政策特別部会」、消費者保護ルールの見直し・充実等を検討する、総務省「ICTサービス安心・安全研究会」などに参加しました。

社員・家族（主な窓口：総務部）

2014年度は、経営層と従業員の交流の場として、「KDDIスポーツフェスティバル」を開催し、約2,200名の従業員とその家族が参加しました。

お取引先（主な窓口：購買管理部）

2014年度は、サプライチェーン全体のリスクの把握・マネジメントの強化を図るため、お取引先さまに対しCSR調達アンケートを実施し、72%から回答を得ることができました。

| 取り組み |

ダイアログの実施およびイニシアチブへの参画

KDDIは2008年度から「4つのCSR重要課題」に取り組むなかで、有識者の方々とのダイアログを通じてさまざまな活動へ助言などをいただいています。2014年度は、KDDIにおけるスコープ3算出結果の活用方法についてステークホルダーダイアログを実施しました。また経済人コー円卓会議日本委員会と国際連合「人権と多国籍企業及びその他の企業の問題」に関するワーキンググループが主催する「CSRリスクマネジメントに関する国際会議」に参加しました。

[ダイアログ・アーカイブ](#)

ステークホルダーエンゲージメント

